

# 老年看護技術論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・吹田夕起子

科目担当者（職位・氏名）：講師・齋藤史枝、助教・新沼伸子

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：68

## ■ 授業概要

多様で複雑な健康問題を持ちながら生活する高齢者に対するヘルスアセスメント技術、高齢者の残存機能を活かした生活援助技術、安全に生活できる環境を整える技術等、効果的な看護を提供するための知識と技術を養う。ヘルスアセスメントの学修では、実践に即した方法を教授する。

## ■ 到達目標

1. 高齢者の食生活を支える看護技術の基本を理解し実施できる。
2. 高齢者の排泄を支える看護技術の基本を説明できる。
3. 高齢者の清潔・衣生活を支える看護技術の基本を説明できる。
4. 高齢者の活動と休息を支える看護技術の基本を説明できる。
5. 高齢者の歩行・移動を支える看護技術の基本を理解し実施できる
6. 高齢者のヘルスアセスメントを実施できる。
7. 高齢者の特性をふまえた看護過程を展開できる。

## ■ 教育内容

老年看護学

## ■ キーワード

健康問題、ヘルスアセスメント、生活を支える看護、看護過程

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	清潔・衣生活を支える看護技術	清潔・衣生活、掻痒、感染症（講義）	吹田
2	排泄を支える看護技術	排泄障害（講義）	吹田
3	食生活を支える看護技術	高齢者の食生活、摂食嚥下障害、脱水、低栄養（講義）	吹田
4	摂食嚥下障害の看護技術	摂食嚥下障害の看護技術（演習） ・嚥下体操、トロミ食介助	共同
5	活動と休息を支える看護技術	活動・休息、睡眠障害、生活リズム（講義）	齋藤
6	歩行・移動を支える看護技術	転倒、骨粗鬆症、骨折、廃用症候群、褥瘡（講義）	新沼
7	歩行・移動を支える看護技術	歩行・移動を支える看護技術（演習） ・体位変換、車椅子移乗、杖歩行	共同
8	高齢者に特有な疾患・障害 （慢性閉塞性肺疾患、肺炎）	慢性閉塞性肺疾患、肺炎の看護（講義）	齋藤
9	高齢者を対象とした看護過程の展開 1	看護診断・看護過程の展開（講義） 事例を用いた看護過程の展開（演習）	吹田
10	高齢者を対象とした看護過程の展開 2	事例を用いた看護過程の展開（演習） ・アセスメント、看護診断	共同
11	高齢者を対象とした看護過程の展開 3	事例を用いた看護過程の展開（演習） ・看護計画、評価	共同
12	高齢者のヘルスアセスメント 1	フィジカルアセスメント、心理・社会的アセスメント（講義）	齋藤
13	高齢者のヘルスアセスメント 2	ヘルスアセスメント技術（講義・演習） ・MMSE、ビデオ鑑賞等	齋藤
14	高齢者のヘルスアセスメント 3	ヘルスアセスメント（演習） ・耳、目、心・血管系、呼吸器系、腹部、筋・骨格系、神経系のヘルスアセスメント	共同
15			

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

試験 70%、課題レポート 30%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・レポートのフィードバックは、コメントを付して返却する。
- ・試験後にクラス全体の到達状況及び平均点を周知する。希望者に対して試験のフィードバックを行うので、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

## ■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
  - 老年看護学 ① 高齢者の健康と障害
  - 老年看護学 ② 高齢者看護の実践
  - 基礎看護学 ① 看護学概論
  - 基礎看護学 ② 基礎看護技術Ⅰ コミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント
  - 基礎看護学 ③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術
- ・リンダ J. カルペニート著（2023）『看護診断ハンドブック 第12版』医学書院

## ■ 参考書・参考資料等

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修として計 90 分程度必要とする。
- ・講義の事前学修として、指定された範囲の教科書を読み、内容をまとめる。
- ・演習の事前学修として、配布する事前学修課題を演習前までにまとめ提出する。
- ・技術演習の事後学修として、配布する事後学修課題を指定された日までにまとめ提出する。
- ・事例課題のアセスメント、看護診断、看護計画を指定された日までにまとめる。

## ■ 担当教員からのメッセージ

高齢者の心身の特徴をふまえた看護技術を学びます。事前学修をして授業にのぞみましょう。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

各担当教員にて提示します。

オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問のこと。

## ■ 担当教員の実務経験の有無

有

## ■ 担当教員の実務経験

看護師

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

## ■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

## ■ 実務経験を活かした教育内容

看護師としての臨床経験をもとに、老年看護学の対象者特有の健康障害とその看護方法について、専門的で実践的な講義、演習を行っています。